

保坂研究室（環境社会学）

教員名：保坂稔

● どんな研究をしているところ？ どんなことに役立つの？

〈研究①アンケート調査を用いた環境保護意識研究〉

アンケート調査を踏まえ、計量的な分析手法を使って検討を行っています。

（関連領域:社会心理学）

	そう思う
長崎調査(2010:学生)	21.1%
長崎調査(2006:学生)	21.4%
名古屋調査(2006:学生)	17.3%
名古屋調査(2005:学生)	16.5%
東京調査(2000:一般市民)	38.3%

（「そう思う」から「そう思わない」の4選択肢から1つ選択）

〈研究②ドイツ環境政策研究〉

環境先進国ドイツの旗手ともいえる緑の党が成功した背景について、環境運動関係者を対象にインタビュー調査をしています。（関連領域:政治社会学、インタビュー調査）



（ドイツにおける歴史的建築物保護運動の様子）

Q 1. 社会学って何ですか？ A1. 心理学と同じように大学で本格的に学ぶことのできる学問です。「環境」「都市」「家族」といったように、社会問題全般を分析します。社会学を学んで取得できる資格に、社会調査士があります。

Q 2. 環境社会学って何ですか？ A2. 環境社会学は、環境問題について、アンケート調査を用いたり、社会学の知見を生かして分析します。社会調査の能力は、マスコミやシンクタンクをはじめとして、さまざまな場面で活用することができます。

Q 3. 社会学の公務員試験はありますか？ A3. 家庭裁判所調査官補採用試験、国家公務員採用総合職試験(人間科学)などがあります。

● 先輩はどんなところに就職しているの？

保坂研究室は就職活動に力を入れているため、卒業生の半数は公務員に就職しています。残りの半数は民間企業ですが、なかでもエコロジーを重視した企業が多いです。残りは大学院に進学したりしています。